

タイトル (活動概要)	51 ステップアップスピーチ	アプローチ (関連する力)	「仲間づくり」 ⑤ ⑮		
タイミング (実施時期)	通 年	活 動 場 所	教 室	所 要 時 間	5～10分
対象学年	幼・小低・小中・小高 中1・中2・中3・高	対 象 規 模	学 級	活 動 場 面	朝の会
活 動 の ね ら い	<p>〈背景〉群れ合い体験の不足から、自分の意見をはっきり伝えたり、相手の話に耳を傾けたりする力が弱い子どもがいる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級全体の前でスピーチを行う経験の積み重ねを通して、相手にはっきり伝える力を身につける ・一人一人のスピーチを聴くことを通して、話している人の気持ちを考えながら耳を傾けることの大切さを実感する 				
準 備	・時期に応じたスピーチのテーマと目標の掲示物				
学 習 ・ 活 動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入（最初の活動のときだけ）					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 目標を意識して、はっきりと伝わるスピーチをしよう </div>					
2 主活動 ○やり方を知る ・翌日の朝の会からスピーチを行う ・朝の会のときに日直（2人～4人）がスピーチをする ・話の内容（テーマ）と目標を決めて行う ・だんだんとステップアップしていく ・パスしてもよいが、後日必ず行うのが原則 ◇テーマ例 「自分の好きなこと」「昨日のこと」 「遠足で心に残ったこと」「運動会でがんばろうと思っていること」 「好きな教科」「将来の夢」 ◇目標例 「みんなに聞こえる声で」「3分以上で」 「視線をみんなの方に」「しっかりした姿勢で」		・学級の人数により、全員に回るのにかかる期間が長くなり過ぎないように日直の人数を考える ・朝の会での短時間なので教師が評価を話すか、いい評価になる場合は、聴いている側の子に発表させてもいい ・聴き方についての評価も時によっておろませる		スピーチのテーマと目標の掲示物	
3 ふり返り ・その日の日直のスピーチが、目標を達成していたら、おおいに認める ・一つのテーマや目標が終わったときに学級みんなのスピーチについて話し、次のテーマや目標を話し合う					
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・パスありのルールをしっかり伝え、負担になりすぎる子が出ないようにする ・パスした場合、話す内容が決まるまで何日でも待つことにし、なかなかできないようならば、個別にアドバイスする ・話の内容への評価も話し方への評価も聴き方への評価も、プラスの評価をする ・特に、声の小さい子への評価を否定的にしてしまうと逆効果になるので、長期的な取り組みであることを話し、人との比較でなく、本人の進歩を評価していくようにする 				